



## シリーズ：帰国生大学入試（4） 小論文、何を書けばいいの？

INFOE（海外子女教育情報センター） 代表  
松本 輝彦

小論文は、帰国生大学入試において最も重視されるものです。

小論文での大学のねらい・目的を考えてみましょう。そして、松本式の小論文勉強法を紹介しましょう。

### 小論文出題のねらい

帰国生大学入試の受験生に対して、大学が真に期待するのは、「豊富な海外体験を基にした広い国際視野」です。

もう一つ大学が求めるものとして、大学入学後の勉学に欠かせない能力として、授業言語である「日本語による表現力・語彙力・文章読解力」があります。

小論文は、受験生のこの二つ能力・レベルを試すものです。より具体的な内容を、右の「小論文：出題の目的」で紹介しました。最初の3つは設問内容に答える文章を書くことにより、最後の2つの能力を判定することが出来ます。

### 受験対策の基本

①の志望理由は、面接で同じ質問があると想定して、出願・受験する学部毎にしっかりと事前に準備することが必要です。

②は、受験生自分自身の体験や考え方を述べさせるもので、一見簡単に思えますが、自分の体験をしっかり掘り下げた考察や意見が求められます。過去の問題などを参考に、体験を異なった角度からまとめておくことが必要です。

③の質問は、海外の受験生が最も苦手とするところです。右ページの勉強法を参考にしてください。

### 問題形式

大学・学部により様々な形式の問題が出題されます。

右の「例」のように、問題・テーマだけを与えて自由に書かせるものが一般的です。字数は400字～無制限、時間は60～120分が標準です。

もう一つ、「小論文」や「国語」の試験の一部として、課題文を読ませてその内容に関連する設問に答えさせる形式のものがあります。字数・時間は、「小論文」では上の課題型と一緒ですが、「国語」に含まれる場合は短くなります。

小論文の使用言語は日本語が基本です。例外的に、英語のみ、あるいは日本語・英語両方で書くことを求める大学・学部があります。

### 小論文：出題の目的

小論文で、大学が見ようとしていることは、目的によって様々ですが、次の様なものが上げられます。

#### ① 大学・学部に対する志望理由がしっかりしているか。

例：「あなたが〇〇学部を志望する理由を述べなさい」

小論文の試験で出題されるだけでなく、出題書類の中で提出を求めてくる場合があります。いずれにしても面接時の重要な資料になります。

#### ② 海外生活が豊かで、その異文化体験を理解し自分のものになっているか。

例「あなたの滞在した国の人々の日本人観について、あなたの感じたことを書きなさい」

「外国生活で感じた日本の文化との違いについて論じなさい」

#### ③ 志望学部に関する知識と、様々な社会問題に対する意見・考えを持っているか。

例：「企業活動の『グローバル化』の功罪について、あなたの考えるところを述べなさい」

「人間は環境との関わりの中でどのようにものを利用していくべきか、あなたの意見を述べなさい」

経済学部や法学部では国際的な経済、社会問題についてのテーマが多く、ある程度テーマに対する知識を持って望まないといへなかったということになります。

#### ④ 日本語による表現力が豊かであるか。

長文の課題文を読まされる場合は、日本語読解力も試されています。

#### ⑤ どのような思考力・判断力・知識があるか。

課題に対する意見を通して、能力を探ろうとする場合があります。

出典：「帰国子女のための大学入試データ集・2010年度版」  
駿台国際教育センター、2009年7月